

10/9 実りの秋、収穫を喜ぶ 蚕桑小学校で稲刈り

蚕桑小学校5年生の児童たちはこの日、稲刈りを体験しました。

J A山形おきたま白鷹地区青年部蚕桑支部（船山圭介支部長）の皆さんにご協力いただき、5月に手植えた稲をひとつひとつ鎌で刈り取り、数本の稲を使って束にする昔ながらの手法やバインダーによる稲刈りも体験しました。児童たちは、ぬかるむ泥に足をとられ、思うように作業ができないと困惑するも、仲間や青年部の皆さんと協力し合いながら、約2時間かけてすべて刈り取りました。作業後の児童たちは、ほどよい疲れとともに達成感に満ちた表情を浮かべていました。



立派に成長した稲を力いっぱい刈り取りました

10/13 鮮やかな紅（あか）にうっとりー 白鷹中学校で紅花染め体験

白鷹中学校1年生の生徒たちはこの日、小松織物工場の小松寛幸さん（十王）を講師にお招きし、紅花染めの体験を行いました。

白鷹中学校では、町の特産品である紅花の栽培や花摘み、色染めなどを体験し、理解を深める取り組みを行っています。輪ゴムや割りばしを使い、さまざまな模様を作ることが可能で、生徒たちはイメージを膨らませながら慎重に作業をすすめ、生徒全員がオリジナルのハンカチを完成させました。実は、染料用の紅花生産量は世界一となる白鷹町。その世界一に関わることができた生徒たちは、貴重な経験ができたと誇らしげにしていました。

紅花の魅力や歴史について説明する▶
小松寛幸さん
綺麗な模様仕上がったハンカチ▼



10/13 町を支える産業を学ぶ 白鷹中学校でキャリアプラン講座

白鷹中学校3年生の生徒たちを対象に、総合学習の一環でキャリアプラン講座が開催されました。

この日は、白鷹町商工観光課の齋藤重雄課長が講話を行いました。町勢要覧や第6次白鷹町総合計画を資料として用いて、白鷹町の特徴や魅力などを説明し、「自分のふるさとのことをしっかり理解して、上手く伝えられる人になってほしい」と語りました。

今はまだ、将来像が定まっていない生徒がほとんどでしたが、今回の講話をきっかけに自分が暮らす町に興味を抱いた生徒もいたようでした。



町の良さや魅力を熱く語る齋藤重雄商工観光課長

TOPICS

トピックス

&

まちのホットな話題
をお届けします！

スポーツ

SPORTS

10/3 災害出動時の交通安全を願って 消防緊急車両安全祈願祭

白鷹町消防団に小型動力ポンプ積載軽自動車が配備され、引き渡し式が行われました。

配備されたのは、第2分団第3部第1班（高岡）、第2分団第4部第1班（深山）、第4分団第2部第2班（滝野折居）の3台となります。小型動力ポンプ積載軽自動車の更新配備については、平成29年度からはじまり、今年度で12台の配備が完了しています。

小型動力ポンプ積載軽自動車は狭い場所にも進入可能で、水害時は小型動力ポンプを降ろすことにより、土のうなどの必要資機材を積載することができるため、非常に機動力のある車両となっています。



佐藤町長より平盛和団長へと車両が引き渡されました

10/5 気軽に集まって、交流を深める場— 「つどいの場 なないろ」が開所

10月5日、荒砥地区に「つどいの場なないろ」が開所。この日、開設式が行われました。

これは、住民ボランティア団体である支え合う地域づくりなないろの会（佐竹正子会長）が主体となり、自立した生活を目指す介護予防の取り組みとして、町の福祉型小さな拠点づくり事業を活用して開設されました。毎週月・木曜日に、介護予防を目的とした体操や運動、趣味などさまざまな活動を行い、健康な体づくりを行うとともに、集まった仲間同士で交流を深めることができます。

このようなつどいの場は、平成29年に鮎貝地区に開設された「つどいの場にじ」に次いで2つ目となります。



開設式に訪れた町民の方に挨拶を述べる会の皆さん